



凡事徹底

内子中学校長 西本 晃

内子町青少年健全育成講演会に参加しました

内子町では、毎年、社会に的確に対応し、心豊かでたくましい青少年を育成することを目的し、内子町青少年健全育成講演会実行委員会主催、内子町教育委員会共催による標記の講演会が開催されています。また、開催に当たり、地域の企業の皆様からの温かい御後援を賜り、著名な方をお招きしての御講演をいただいています。昨年度は、元プロ野球選手の森本稀哲（ひちより）さんの御講演をオンラインで視聴しました。そして、今年度は日本スピードスケート界初の金メダリスト、清水宏保さんに御講演いただき、3年生は共生館で、1・2年生はオンラインでお話を聴くことができました。他郡市ではあまり経験できない貴重な経験です。「トレーニングは、意識して考えて行うこと」、「いろいろな角度から目線を変えてみて、行動すること」、「背景を考えながら、目的と目標を持って取り組み、何のために今やっているかを考えること」、「親やお世話になっている人への感謝の気持ちを持ってほしいこと」等、清水さんのお話は、生徒の心を動かし、やる気に繋がったのではないかと考えています。御講演から学んだことを自分の生活に生かし、夢や目標の実現に向けて、是非とも頑張りたいと思います。



新体力テストを行っています(保健体育科)

本校では、現在、保健体育科で新体力テストを行っています。本校生徒は運動の好きな生徒が多く、体育の授業を楽しんで行っていますが、さて、どんな結果が出るのでしょうか。



近年、子どもの体力低下が課題として取り上げられており、愛媛県では、「えひめ子ども体力向上プラン」を策定し、子どもの体力を上昇傾向に転じさせ、昭和60年頃の水準へ回復させることを目指しています。

提言として、「す・こ・や・か」を推奨しています。

- | |
|--|
| <p>す：すべての子どもがスポーツに親しめる環境を（二極化への対応）</p> <p>こ：子どもの頃から望ましい生活習慣を（早寝・早起き・朝ごはん）</p> <p>や：やってみよう続けてみようとして子どもが思う個に応じた指導を（調査結果を指導に生かす）</p> <p>か：家庭や地域で運動習慣・生活習慣の見直しを（家庭や地域との連携）</p> |
|--|

なお、御家庭でも「早寝・早起き・朝ごはん」など、生徒の体力向上に御協力ください。

新しい学習指導要領スタート

令和2年度から小学校、3年度から中学校、そして今年度から高等学校で、新しい学習指導要領による教育活動が行われています。

新学習指導要領とは、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準で、およそ10年に1度、改訂しています。また、子どもたちの教科書や時間割は、これを基に作られおり、大切にされている大きな目標は、子どもたちに生きる力を育むということです。以前、文部科学省が作成したパンフレットに、保護者や地域の皆様にお力添えをいただきたいことが、下記のように書かれていますので、紹介させていただきます。

保護者の皆様へ

| |
|--|
| <p>子どもたちの「生きる力」を育むには、学校での学びを日常生活で活用したり、御家庭での経験を学校生活に生かしたりすることがとても大切です。</p> |
|--|

| |
|--|
| <p>お子さんが学校で学んだことについて、御家庭で是非話してみてください。保護者の皆様の働きかけが、子どもたちの「生きる力」を育む原動力になります。</p> |
|--|

また、全国学力・学習状況調査の調査研究を基に、保護者の方の働きかけがある子どもの学力は高い傾向があると紹介されています。具体例として、7つのことが示されています。是非、御家庭で参考にしてみてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">① 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。② テレビ・ビデオ・DVDを見る時間などのルールを決めている。③ テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む）をする時間を限定している。④ 子どもに本や新聞を読むようにすすめている。⑤ 子どもに最後までやり抜くことの大切さを伝えている。⑥ 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。⑦ 地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。 |
|---|

なお、本校では、毎月の生活調査でSNSやゲーム等の利用時間について確認しています。休日はもちろん、平日も利用時間が長く、依存症になったり、睡眠不足になったりしている生徒がいるのではないかと心配しています。

今の社会の状況を考えると、ICTの良さも取り上げられており、一概に禁止すればよいというわけではありません。正しい使い方を親子で考え、実践するとともに、できなかったときはどうするか、しっかり約束をして利用できるよう御検討ください。